

～ ヤマケイ通信 ～

- いつもお世話になり、誠にありがとうございます。
- 早いもので今年も締めくくりの時節となりました。
- 街がクリスマスイルミネーションで美しく輝いていますね。
- この時期ご多忙の折ではございますが、お体に気をつけて良き年をお迎えください。
- 今月号は、年始のご挨拶「年賀状の歴史」についてです(^_^)



年賀状の由来と歴史

- 昔から大切な人と交わされてきた年賀状。
- そこには人とのつながりを大切に、相手を思いやる日本人の心が表れています。
- メールが普及した現在でも年賀状の販売枚数は国民一人あたり約 19 枚になります。
- ピーク時は 2003 年で国民一人あたり約 35 枚。年々減少傾向にある年賀状ですが、その歴史は古く平安時代から始まったと言われています。
- 平安時代に貴族の藤原明衡がまとめた手紙の文例集の中に年始の挨拶の文例があったためです。
- これにより貴族の一部では手紙で年の始めの挨拶をしていたことがわかりました。
- 同時にその頃から年の始めにお世話になった人や親族の家をまわって挨拶をする「年始回り」の習慣も広まりました。江戸時代になると付き合いが広くなり、遠方の知り合いには飛脚に頼んで新年を祝う書状を届けてもらうことも増えていきます。国民的な習慣として根付いたのは明治時代になってからで郵便事業の創業や郵便はがきの発行などにより急増し、さらに昭和になってからお年玉付年賀はがきが大ヒットし一気に広まっていきました。



年賀状を送る意義とは

- もともと年賀状は年賀の挨拶に行きたいけれど、遠くていけない人に挨拶をする目的で始まったもの、つまりは礼儀でした。
- 今は礼儀以外にも自分の近況報告や昨年お世話になったことへのお礼の気持ちを込めて送ります。
- 年賀状は普段なかなか連絡を取らないけれど、年賀状を出すことで自分が今どうしていて、どこに住んでいるということを相手に知らせることが出来ます。つまり自分の近況報告や現住所などの連絡の意義が含まれています。
- 親しき中にも礼儀ありで、人と人との付き合いの中には礼儀や信頼関係は大切なことですよね。
- 年始に年賀状が届くと少しでも気にかけてくれている様子を感じることができ、嬉しい気持ちになります。メールもいいですが、年賀状は形に残り、一生の宝物になります。

ご購入ありがとうございました。次回号をお楽しみに(^o^)



有限会社 山本圭商店



各種包装機用超硬カッター、セラミック加工、テフロン加工、各種表面処理加工、包装資材全般販売
〒537-0012 大阪市東成区大今里 3-11-24 TEL 06-6971-1347 FAX 06-6971-2201 www.tyoukou.jp